

人と自然が輝く

やすらぎと活力の大地

陸奥の国




# むつ市新体育館基本構想・基本計画

概要版



平成28年3月

 むつ市





## ■基本構想・基本計画の策定にあたって

長きにわたり市民に親しまれてきた市民体育館が、平成25年11月閉鎖となり、市民のスポーツ活動の場が減少したことから、スポーツニーズに十分応えられない状況にあり、市民からは、新体育館の建設を望む声が多く寄せられております。

平成26年3月に策定した、「むつ市スポーツ推進計画」で「計画的な公共スポーツ施設等の整備、充実」を、「むつ市スポーツ施設整備計画」において、市民総合体育館の整備方針を示しております。

本施設を整備するにあたっては、市民ニーズを的確に捉え、必要な機能や設備などを見定めるとともに、整備、管理・運営における財政負担の縮減に配慮し、策定予定の公共施設等総合管理計画などのコンパクトシティ構想による持続可能なまちづくりや、むつ市国土強靱化地域計画に基づく防災機能強化など、むつ市にふさわしい、市民に愛される、市民のための新体育館を整備すべく、その整備方針を基本構想・基本計画として取りまとめました。

## ■市民のご意見を踏まえた構想・計画の策定

むつ市のスポーツ振興に尽力して頂いている各競技団体代表の方々との懇話会、メールモニター・各競技団体へのアンケート、市民ワークショップ、パブリックコメントを通して、市民から頂いたご意見を基本構想・基本計画に反映させることができました。

| 期日                       | 主な対象者              | 方法  |
|--------------------------|--------------------|---|
| <b>◆スポーツ関係団体ヒアリング調査</b>  |                    |   |
| H27/9/18                 | 市民体育館の利用団体代表       | 各競技団体代表の方々との懇話会を通じ、現状の利用実態や新体育館への意向調査を行いました。                                      |
| <b>◆利用者実態調査（アンケート調査）</b> |                    |   |
| H27/11/9 - 11/16         | 市民体育館の利用団体         | 市内で活動しているスポーツ団体に所属する利用者を対象としており、具体的に現状の屋内体育施設の問題点と、新体育館への要望を抽出するために行いました。         |
| <b>◆新体育館検討の為のワークショップ</b> |                    |   |
| H27/11/7                 | スポーツ関係団体<br>一般公募市民 | 旧体育館の現状に対する課題と、新体育館への要望について多岐にわたる貴重なご意見をいただくことができました。                             |
| H27/12/12                |                    | 建設地が決定したことを踏まえ、新体育館に求められる機能と規模について多岐にわたりお話しいただき、貴重なご意見をいただくことができました。              |
| H28/2/13                 |                    | これまでの市民ワークショップやアンケート等の結果を踏まえ、模型等を用いて新しい体育館の規模や機能構成について、多岐にわたる貴重なご意見をいただくことができました。 |
| <b>◆パブリックコメント</b>        |                    |   |
| H28/1/22 - 2/5           | 一般公募市民             | 6名の市民の方々から多岐にわたる貴重なご意見をいただくことができました。  |

## ■スポーツスクエアの形成と新体育館の基本テーマ

建設地の特性を活かし、新体育館を単体の体育施設として完結するのではなく、隣接するウェルネスパークや防災緑地、太平マリーナを含めたエリア全体を市民に愛される街区（スクエア）として、市民がスポーツ・レクリエーションに親しみ、健康で豊かな生活を実現する「スポーツスクエア」と位置づけ、そこにおける新体育館の基本テーマを以下のように設定しました。この基本テーマは、スポーツスクエアにも共通するテーマです。

**誰もが気軽に利用でき、スポーツと健康づくりを  
楽しみ、スポーツを通じて交流と文化を育む、  
にぎわいの拠点となる新体育館（スポーツスクエア）**

**誰もが** 子どもから高齢者、障がい者、性別を問わず、一人で、仲間（グループ）で、家族でと、幅広い世代が、各々のライフスタイルに合わせて気軽に利用でき、安全安心で誰もが使いやすく、快適で、市民一人ひとりが主役となり、様々な形でスポーツと出会い、ふれあえる市民のための体育館とします。

**スポーツと健康づくり** トップアスリートを目指す競技志向から、健康づくりやレクリエーションとしてレジャー的な楽しみ方まで、多様なスポーツメニューにより、日頃スポーツに親しみのない市民にも、スポーツにふれあう機会を提供し、スポーツ人口の拡大を図り、スポーツと健康づくりの拠点となる体育館とします。

**交流と文化を育む** 「する」「観る」「支える（育てる）」スポーツの実践は、人と人、人とスポーツ、スポーツと街のように、様々な交流の創出や、トップアスリートの育成やプロスポーツの誘致など、一流の選手に直接ふれる機会を増やし、文化としてのスポーツが根ざす契機となる体育館とします。

**にぎわいの拠点** 陸奥湾、釜臥山、しもきた克雪ドームが創り出す、むつ市を象徴する景観を持つ、「観光・交流レクリエーションエリア」での立地特性を活かし、スポーツを通じた地域コミュニティ形成にとどまらず、イベントやレクリエーションなどの利用で、新たな文化交流拠点となる体育館とします。

## ■新体育館の基本整備方針

基本テーマを踏まえ、新体育館の基本整備方針を以下のように設定しました。

### ■1 「する」「観る」「支える（育てる）」体育館 ～スポーツ推進拠点～

- 整備方針1 「する」スポーツに対応した施設
- 整備方針2 「観る」スポーツに対応した施設
- 整備方針3 「支える（育てる）」スポーツに対応した施設

### ■2 地域に根差し、地域・文化交流を促す体育館 ～地域・文化交流拠点～

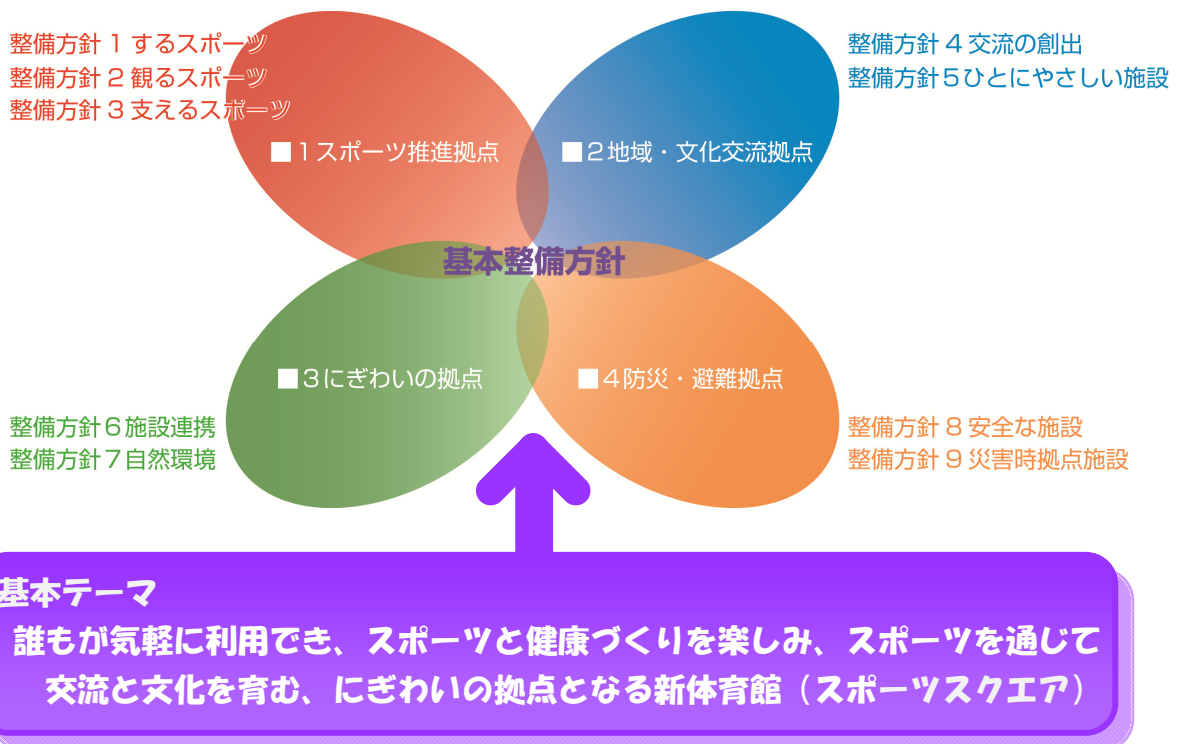
- 整備方針4 スポーツを通じて交流を生み出す施設
- 整備方針5 誰もが利用しやすい、親しみのもてる施設

### ■3 地域資源を活かし、多目的に利用できる体育館 ～にぎわいの拠点～

- 整備方針6 ウェルネスパークとの連携と共存共栄
- 整備方針7 自然環境に配慮した体育館

### ■4 安全・安心な体育館 ～防災・避難拠点～

- 整備方針8 安全にスポーツを楽しめる施設
- 整備方針9 災害時の防災拠点に転用できる施設

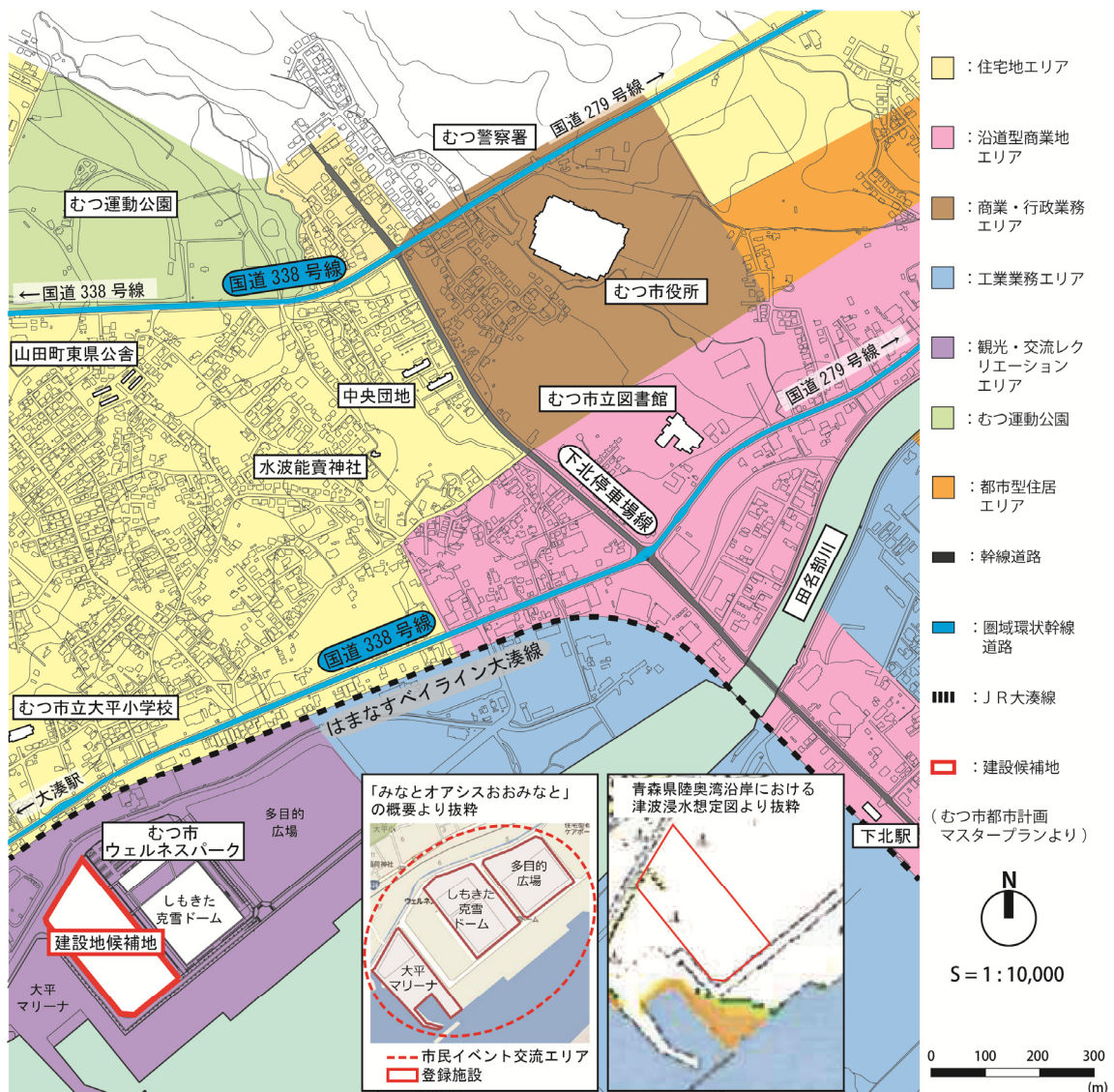


基本テーマイメージ図

## ■建設地（ウェルネスパーク西側隣接地）の決定

ウェルネスパーク西側隣接地は、「むつ市都市計画マスタープラン」で「観光・交流レクリエーションエリア」に、「みなとオアシスおおみなと」で「市民イベント交流エリア」に指定され、市民要望の「イベントやコンサートなどの多目的利用」や、関連計画の「スポーツ交流を通じた地域の活性化の促進」に適したエリアと言えます。

なお、青森県陸奥湾沿岸における津波浸水想定図（平成27年3月）より、ウェルネスパーク隣接地は浸水域から外れています。



### 【選定の主な理由】

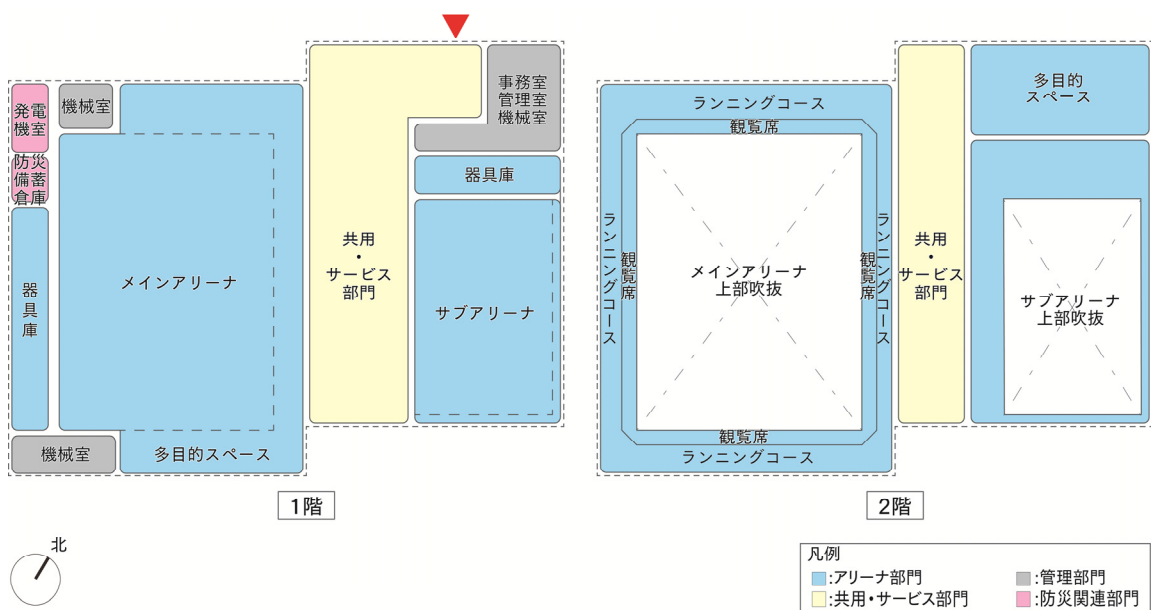
- ・むつ市都市計画マスタープランとの整合性が図られていること
- ・十分な駐車場の確保、幹線道路からのアクセス性など、市民の利用のしやすさ
- ・周辺環境にも恵まれ、隣接するウェルネスパークとの連携によるスポーツの拠点機能に留まらず、イベントや催事など、多機能な展開の可能性がある場所であること

## ■配置基本計画の機能構成



※本事業で将来計画部分の用地取得を行い、新体育館建設後に武道場等の整備について検討予定

## ■施設基本計画の機能構成と部門配置



※設計段階で変更になる場合があります。

## ■基本施設計画における部門面積と想定仕様の概要

### ①面積表

| 部門         | 面積 (㎡)    | 備考                    |
|------------|-----------|-----------------------|
| ②アリーナ部門    | 約 4,000 ㎡ | 内救援物資集積所※：約 1,300 ㎡   |
| ③共用・サービス部門 | 約 1,500 ㎡ | 内救護所※：約 200 ㎡         |
| ④管理部門      | 約 500 ㎡   | 事務室、会議室等を指揮機能集中拠点※に転用 |
| ⑤防災関連部門    | 約 500 ㎡   |                       |
| 合計         | 約 6,500 ㎡ |                       |

※むつ市国土強靱化地域計画における新体育館の防災機能

### ②アリーナ部門

| アリーナ部門               | 仕様等   |
|----------------------|---|
| メインアリーナ              | 【形状】<br>・バスケットボール2面、バレーボール(6人制)2面、バレーボール(9人制)2面、バドミントン10面、テニス2面、卓球12台、フットサル1面<br>・天井高さ：梁下 12.5m以上         |
| ランニングコース(メインアリーナと併設) | 【形状】幅員1.8m以上とし、周回できる形状  |
| サブアリーナ(柔剣道場兼用)       | 【形状】<br>・バスケットボール1面、バレーボール(6人制)1面、バレーボール(9人制)1面、バドミントン4面、卓球6台<br>・柔道場2面、剣道場2面、フェンシング4面<br>・天井高さ：梁下 7.0m以上 |
| メインアリーナ2階観覧席         | ・固定席とし、500~1000席程度(一部車椅子席)確保  |
| その他諸室                | 器具庫、トレーニングジム※、フィットネススタジオ※、多目的スペース(用具庫舎)※  |

※：ウェルネスパークを利用

### ③共用・サービス部門

| 共用・サービス部門 | 仕様等   |
|-----------|---|
| 共用(通路等)   |   |
| 通路等       | エントランスホール、ロビー、風除室、エレベーター、廊下、階段  |
| その他諸室     | 情報コーナー、軽飲食コーナー、自販機コーナー、下足ロッカーコーナー   |
| サービス      |   |
| サービス諸室    | キッズルーム、託児室、授乳室、おむつ替え室、トイレ(男女)、多目的トイレ、ロッカールーム(男女)、シャワールーム(男女)、障がい者用ロッカールーム、シャワールーム(男女兼用) |
| その他諸室     | スポーツカウンセリングルーム※、体力計測室※  |

※：ウェルネスパークを利用



|             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| サービス（会議・研修） | ※大会関係諸室は会議・研修諸室等と兼用             |
| 会議室・研修室等    | 会議室兼研修室、大会本部室、大会役員室             |
| その他諸室       | 放送室、審判控室、選手控室、選手ラウンジ、選手用トイレ（男女） |

#### ④管理部門

| 管理諸室  | 仕様等                       |
|-------|---------------------------|
| 管理室等  | 事務室、職員出入口、下足入れ、医務室、職員用トイレ |
| その他諸室 | 応接室※、職員更衣室（男女）※           |
| 供給    |                           |
| 供給諸室  | 倉庫等、清掃具倉庫、機械室、PS、EPS等     |
| その他諸室 | 職員控室（男女）※、清掃員控室※          |

※：ウェルネスパークを利用

#### ⑤防災関連部門

| 防災関連    | 仕様等  |
|---------|--|
| 防災備蓄倉庫  | ・ 救援物資集積所に必要な備品の収納                                       |
| 自家発電機室  | ・ 72 時間（3 日分）稼動可能な能力<br>・ 屋内設置                           |
| 太陽光発電設備 | ・ 屋根面に設置<br>・ 発電量を掲示するディスプレイの設置（見える化）<br>・ 災害時に利用可能なシステム |

#### ⑥その他

| その他       | 仕様等  |
|-----------|--|
| 駐車場       | ・ 300 台程度確保<br>・ 大型バス、身障者用駐車場を適宜確保<br>・ 周辺の空地の適宜利用 |
| 駐輪場（屋根付き） | ・ ウェルネスパークと同程度確保                                   |

## ■ 事業手法の比較検討

PFI方式をはじめとする、民間ノウハウや民間資金を活用した「官民連携手法」による事業方式導入について、下表の5手法を8つの項目にて比較検討し、従来方式が最も適していると判断しました。

|                              |      | 従来方式 | DB方式 | ECI方式 | DBO方式 | PFI方式 |
|------------------------------|------|------|------|-------|-------|-------|
| ①事業期間の短さ                     |      | ±0   | +7ヶ月 | +9ヶ月  | +11ヶ月 | +21ヶ月 |
| ②官民連携手法導入に掛かる委託費<br>(少ない方が○) |      | ○    | △    | △     | △     | ×     |
| ③発注準備(発注のしやすい方が○)            |      | ○    | △    | △     | △     | ×     |
| ④民間のノウハウ活用(施工技術の反映)          |      | ×    | ×    | ×     | ×     | ×     |
| ⑤民間のノウハウ活用(管理運営手法の反映)        |      | ×    | ×    | ×     | ○     | ○     |
| ⑥工事発注段階での競争性の確保              |      | ○    | ×    | △     | ×     | ×     |
| ⑦工事発注段階での参加公平性の確保            |      | ○    | △    | △     | △     | ×     |
| ⑧参加民間事業者にとっての事業採算性           |      | —    | —    | —     | △     | △     |
| 発注区分                         | 基本設計 | 個別発注 | 個別発注 | 個別発注  | 個別発注  | 一括発注  |
|                              | 実施設計 | 個別発注 | 一括発注 | 個別発注  | 技術支援  |       |
|                              | 建設工事 | 個別発注 |      | 個別発注  | 一括発注  |       |
|                              | 管理運営 | 個別発注 | 個別発注 | 個別発注  |       |       |
|                              | 資金調達 | 市    | 市    | 市     | 市     |       |

凡例:   民間事業者(設計事務所)   民間事業者(建設会社)   民間事業者(SPC)   :むつ市

なお、従来方式では対応しにくい「民間のノウハウの活用（施工技術の反映）」については、今後の設計作業と並行して、以下の検討を行うことで対応可能と考えます。

- ・ 一括発注方式による経費縮減の検討
- ・ 技術提案型競争入札方式（入札時VE<sup>※</sup>方式）と技術提案型総合評価入札の比較検討

※VE: Value Engineering の略。建物の「価値」を、「機能」と「コスト」との関係で把握し、「コスト」を抑えて同等以上の「価値」を生み出す手法

また、「民間のノウハウの活用（管理運営方式の反映）」については、今後、従来方式を前提とし管理運営方式の検討を行っていく必要があります。

## ■ 施設管理運営方式の比較検討

本事業で選択可能な管理運営方式は、公設公営の「直営方式」と、公設民営の「指定管理者方式」の2方式に絞られます。むつ市内の体育施設でも両方の方式が採用されていることから、今後は、市全体のスポーツ施設の施設管理運営の方向性との整合と、設計業務を進める過程での建築計画的な側面から、直営方式と指定管理者方式のメリット・デメリットの検証を行い、建築計画と整合を図った施設管理運営方針に則り、施設管理運営方式を決定すべきと考えます。

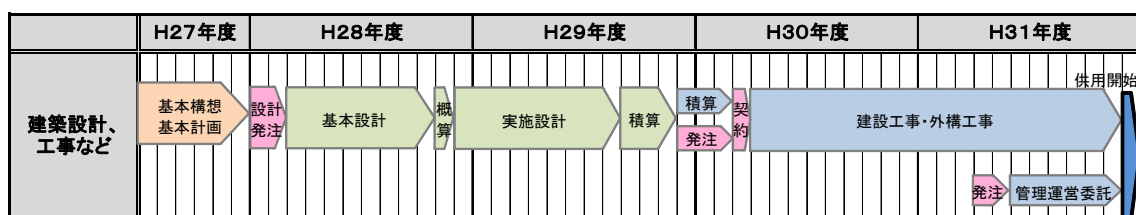
## 【管理運営方式の比較検討】

|                     | 公設公営                |  | 公設民営    |  |
|---------------------|---------------------|--|---------|--|
|                     | 直営方式<br>(一部業務委託を含む) |  | 指定管理者方式 |  |
| 設置主体                | 公共団体                |  | 公共団体    |  |
| 運営主体                | 公共団体                |  | 民間      |  |
| ①管理運営責任の明確さ         | ○                   | 責任の所在は明確である  | △       | 仕様書により責任範囲を明確にしておく必要がある  |
| ②行政目的での利用のしやすさ      | ○                   | 行政の都合による目的外利用がしやすい                                 | △       | 運営委託のため、行政の都合での目的外利用はしにくい                                      |
| ③人員配置の柔軟性           | △                   | 原則自治体雇用の職員であり、人事の自由度は低い                            | ○       | 曜日や時間帯による効率的な人員配置や、専門家の配置など、適材適所の配置が可能                         |
| ④サービスの質の向上、事業展開の柔軟性 | △                   | サービスの固定化、マンネリ化の恐れがある。行政手続きに沿った事業展開のため対応が遅くなる可能性が高い | ○       | 専門性の高いスタッフの配置、最新情報取得のしやすさから、新しいサービスの提供を迅速に行える                  |
| ⑤維持管理費の縮減           | △                   | 人件費(自治体雇用)の圧縮や、業務のアウトソーシング化等、維持管理費を縮減しにくい          | ○       | マルチタスクの導入、維持管理に即した機器の導入、適切な人員配置による維持管理費の縮減を行いやすい               |
| ⑥管理運営履歴の蓄積と継承       | ○                   | 永続的に同一組織による運営のため、蓄積と継承を行いやすい                       | △       | 委託期間満了後に管理者が変わった場合、以前までの管理情報、施設情報の継承がスムーズに行われない可能性がある          |
| ⑦発注手続きの容易性          | ○                   | 行政内部の処理のみ  | △       | 発注に至る手続きや審査の公平性などの環境の整備、指定管理者を担える事業者の募集範囲の設定や審査の公平性などの環境の整備も必要 |

## 【今後の検討項目】

- 1 施設管理運営団体に求める業務の検討
- 2 施設管理運営団体に求める資質と対象団体の検討
- 3 仕様書および発注方式（指定管理者方式の場合）の検討

## ■事業スケジュール



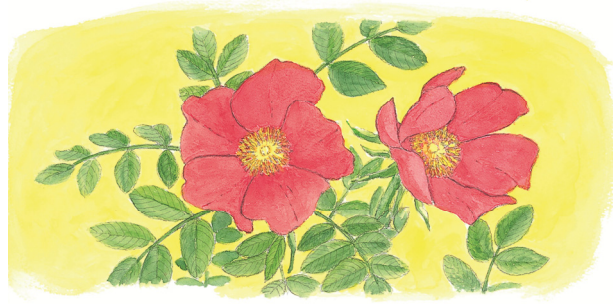
## ■事業概算費

| 費目  | 建設工事費         | 造成・外構費      | 什器備品費      | 用地費、その他経費   | 総事業費          |
|-----|---------------|-------------|------------|-------------|---------------|
| 概算額 | 3,025,000,000 | 355,000,000 | 30,000,000 | 150,000,000 | 4,000,000,000 |

単位：円

※価格は消費税相当額を含む

# むつ市の花・木・鳥



『はまなす』



『ひば』



『はくちょう』

平成21年9月1日制定

むつ市新体育館基本構想・基本計画【概要版】

平成28年3月


発行：むつ市

編集：むつ市 民生部 市民スポーツ課

承認第2015100L 号





 む つ 市